

令和4年度第7回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日時】 令和4年12月13日（火）18:00～18:52

【場所】 浜益支所2F 庁議室

【資料】 1) 会議次第

2) 2023 浜益区地域おこし協力隊募集要項

3) 「高齢者世帯等の自宅排雪に関する調査」～概要と結果～

4) 浜益冬のあんしん事業（おためし編）・案

【出席者】 7名（13名中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美		委員	水崎 理	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり		委員	徳田 和之	
委員	岡本 俊介	○	委員	木村 美幸		委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子	○	委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子				

（支所） 高橋支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）

伊藤市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）

川村集落支援員

（事務局） 佐々木地域振興課長、佐藤（慎）主査

【傍聴者】 1名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 令和5年度地域おこし協力隊の募集について
 - (2) 高齢者に優しいまちづくりについて
- 4 その他
- 5 次回の開催日程について
- 6 閉会

1 開 会

【事務局】

ただいまから、令和4年度第7回浜益区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

【渡邊会長】

今年も残すところ半月余りとなりました。今年は例年より根雪が早く、真冬日も多かったのですが、本日は雨混じりの暖気で寒暖の差が激しい状況です。体調を崩さぬよう、健康管理に十分ご留意ください。また、新型コロナウイルス感染症について最近落ち着きを見せております。寒くても、部屋の換気を行うなど感染予防対策の徹底に努めていただきたいと思います。

今日の議題は、令和5年度地域おこし協力隊の募集についてと、継続の協議事項である高齢者に優しいまちづくりについての2件です。

地域の方々が住み慣れた場所で、いつまでも生きがいを持ち、明るく元気に、安心、安全に、心豊かに暮らすことができるよう、協議を進めてたいと思いますので、委員の皆様のご意見をお願いいたします。

【事務局】

本日の会議は出席委員が13名中7名出席しており、過半数に達しておりますので、成立していることをご報告いたします。

3 協議事項

【渡邊会長】

それでは、協議事項に入ります。令和5年度地域おこし協力隊の募集について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

お手元の募集要項をもとに説明します。まず、令和5年度採用の石狩市浜益区地域おこし協力隊を1名募集します。応募の締め切りは、2月28日火曜日までとします。募集する隊員の活動内容の一つ目は、観光プロモーション・企画で、令和5年度から新たにミッションとして加えました。浜益の観光プロモーションに積極的に取り組んでいただき、関係団体とも連携のうえ、浜益を通年楽しめる、着地型観光の実践に取り組むということです。将来的には、浜益の観光を担う団体の中核となる人材となって欲しいという願いを込めています。

2つ目は、地域サロンの運営・サポートです。令和4年度までの募集要項では、高齢者サロンの企画・運営としていましたが、地元の方々と協力して元気なお年寄りを益々元気にし、地域の方々が交流できるような、地域サロンの実現へと展開していくものです。既に活動を続けていらっしゃる皆様とのご相談にもよりますが、月1回から2回開催している、カフェクローバーの活動内容の充実や拡大、更には区内の他地域で、地域内の交流拠点を作れないかという期待を込めています。

3つ目、郷土の味の伝承です。これは、けんちん汁や浜益のニシン漬、タレ付きジンギスカン等、地元の方々が当たり前と考えていた浜益のソウルフードをPRし、後世に伝承していく活動に取り組むということです。

以上の様に、令和5年度採用の地域おこし協力隊募集にあたって、より具体的なミッションを提示することにより、卒業までに取り組むべきことを明確化し、3年間の地域おこし協力隊の活動をイメージしやすいものを考えました。

また、自由企画枠として、従来のフリーミッション型も、実践が可能かどうかも含めて個別に判断することとしています。

勤務条件や待遇、福利厚生、募集要件、応募から採用までのスケジュール、おためし地域おこし協力隊プログラムの4点について、詳細を資料に記載しております。昨年との大きな変更点は、健康保険が、社会保険加入から市町村職員共済加入となったことです。

応募から採用までのスケジュールは、募集期間が令和5年1月6日の金曜日から2月28日、火曜日までとし、書面による一次選考を3月3日の金曜日に行い、3月中旬に面接による二次選考を実施する予定です。

本日は募集要項について本協議会で検討いただき、1月14日に東京で開催されるさっぽろ連携中枢都市圏の移住促進イベントや、1月15日にJOINという機構が開催する移住・交流&地域おこしフェアにて、石狩市のブースを出展し、積極的にPRを行ってまいりたいと考えております。

なお、応募状況等については、今後の地域協議会内で随時報告させていただきます。

【渡邊会長】

ただいま事務局から説明がありました件について、質問やご意見ありませんか。

【徳地委員】

募集要件はここまで細かく必要ですか。三大都市圏とか必要ですか。浜益に住民票を移して移住できる方という要件ではだめですか。

【事務局】

募集要件については国の定めとして基本は三大都市圏とか、市町村ごとに細かく、ここから来た方は大丈夫という決まりがあります。国からの補助を受けるための要件となっています。

【徳地委員】

以前から、ここまで細かい要件が必要なのかとっていました。

あと、協力隊の募集はSMOUT（スマウト）に掲載しないんですか。

【事務局】

SMOUTへの掲載については事務局内でも検討していなかった部分です。企画課と厚田支所地域振興課を含めて相談、調整が必要な部分だと思いますので確認します。

【徳地委員】

他の自治体の地域おこし協力隊の募集をよく見かけます。無料プランで掲載できるので活用してみてもどうでしょうか。

【渡邊会長】

SMOUTとは何ですか。

【徳地委員】

移住定住を前提とした人材募集サイトです。面白法人カヤックという会社が運営しており、浜ワークでも活用しています。浜ワークの求人でもかなり良い反応があります。利用したほうが良いと思います。

【渡邊会長】

市町村のホームページは、その市町村に興味が無ければ見ないですよ。

【柿岡委員】

SMOUTは協力隊募集の他に、おためし協力隊の募集やオンラインのおためし協力隊、説明会の告知等も掲載されています。移住を希望している方が見ていると感じます。

【事務局】

今現在、令和4年度におけるおためし地域おこし協力隊の事業については、浜益観光まちづくり推進協議会が関わっている、2月11日土曜日に開催のスノーシューでイチイの木を訪れるツアーの準備段階からお手伝いに参加していただいて、当日の運営や、冬の浜益の生活と観光資源を体験してもらう内容で企画を練っております。

検索サイトを利用してもらうよりも、SMOUTのような移住希望者専門の窓口から知ってもらうのが応募もスムーズだと感じます。移住先を探している側も同様だと思います。掲載する内容を検討し利用したいと思います。

【渡邊会長】

積極的に活用をお願いします。1月14日に行くメンバーは決まっていますか。

【事務局】

はい。徳地委員、柿岡委員、佐藤主査、企画課の芳賀主査の4名です。

【渡邊会長】

しっかりとPRして、必ず一人、見つけてきてください。よろしくをお願いします。

【柿岡委員】

良いご縁があって、良い人材が来てくれれば良いと思います。

今までの募集と違い、ミッション内容が明確になっていて、応募する側がこういう仕事をしたいと絞りやすいと思います。来る前に宿題がきちんと出ていると、目的も明確になるので、着任した方も活動しやすいと感じます。

また、このミッション中の郷土の味の伝承について、皆さんにお聞きしたかったことがあります。けんちん汁を郷土の味と聞きますが、浜益ならではのけんちんの味というのが、何を定義としているものなのか私はわからなくて、クジラが入っていたりしますよね。

【久慈委員】

クジラが入っていないとあの味は出ないですね。仕上がりが悪いです。脂が良い仕事をします。

【事務局】

豚のバラ肉で良いのではないかという話を母にしたら怒られた経験があります。

そして、スーパーで塩クジラ（ミンククジラ）が売っていたので買っていかと聞いたら、それは柔らかいものじゃないのかと言われて、固いものじゃないと駄目なのですね。母は知り合いのお店に注文したので、買わなくていいよと言われました。

【柿岡委員】

何故クジラだったのか、よそのけんちんと比べたらここは浜益だけだよねというのが出てくると思います。

【川村支援員】

道南ではくじら汁と言います。けんちんとは言いません。

【徳地委員】

けんちんっていうのは汁物のことですよ。私はけんちんを煮物だと思っていました。

【久慈委員】

けんちん汁ですからね。具材がたくさん入っているからこそ、おいしい汁ができます。お正月に食べるのでお餅を入れる方もいます。

【渡邊会長】

昔の私の祖母が作ってくれたのですが、私はクジラの肉を入れるのが苦手でした。

それぞれの家庭で、色々な作り方があると聞いています。

【柿岡委員】

それで、新しい協力隊の人が、こういう事を聞きに行くんじゃないかと思しますので、みなさんご協力をお願いします。

【久慈委員】

けんちんは浜益の味ですよ。お正月のごちそうなので、正月が明けるまでけんちん汁を食べています。本当に大きな鍋で作るので、それだけでも大変です。

【渡邊会長】

それでは、令和5年度の地域おこし協力隊の募集については、事務局提案のとおり進めることとしてよろしいでしょうか。

— 了承 —

次に、高齢者に優しいまちづくりについて事務局から説明をお願いします。

【事務局】

初めに、高齢者世帯等の自宅排雪に関する調査、ニーズ調査の結果について説明します。

資料の2ページ、アンケートの趣旨は、地域協議会で継続して議論してまいりました、高齢者に優しいまちづくりの試みとして来年以降の冬を目途にして、高齢者世帯等の自宅敷地内排雪サービスを実現できるかどうかの検討を深めるために実施した調査です。

留意事項が3点ありまして、今年冬の排雪サービスではないこと。排雪サービスとは何かという説明を表記し、市が行っている高齢者等除雪サービスを利用していない方も対象として考えているということを明示しております。

3ページ以降がアンケート結果です。

問1で、お住いの地区を答えていただいて、オレンジ色のグラフが地区別の回答世帯数です。アンケート回収数が61世帯で、全体の回収率は世帯数686世帯に対して約9%です。

地区別の回答率は青色のグラフで示しており、回答数が多い順から川下地区23世帯、浜益地区10世帯、幌地区8世帯と続いています。なお、自治会組織がない、雄冬地区、床丹地区については、今回アンケートを実施していません。

4ページ目の問2と問3です。世帯の状況と除雪の状況についてです。回答者の77%が65歳以上の高齢者世帯で、重度障がい者世帯と重複している世帯もごぞいます。また、右側のグラフで示していますが、約6割の回答者が自ら除雪をしている世帯です。

問4と問5です。お金がかかっても排雪サービスがあれば使いますか、また、月2回の排雪サービスなら、お値段のイメージはいかがですかという設問です。まず、回答者の約8割の世帯が利用したい、または金額によっては利用したいとの回答であり、非常に高い利用意向があることが伺えます。

利用価格のイメージは、回答者の約半数が3,000円未満で、3,000円～5,000円程

度とする回答者を加えると全体の95%となっています。

以上から、3,000円程度の負担額であれば、ほとんどの方が利用を希望するのではないかと考えられます。

6ページですが、問4を地区別に集計した結果です。先ほどの利用意向を地区別に集計しています。利用したいと回答した人の割合は全体のうち37%でしたが、昆砂別地区、川下地区、幌地区の利用希望者の割合が全体平均を上回っています。区内でも市街地が比較的集積している地区において利用意向が高い、排雪、除雪を必要とする事情があるという傾向も伺えます。アンケート調査の結果は以上です。

続きまして、浜益冬のおんしん事業のおためし編・案の資料を説明いたします。令和4年度中に、浜益冬のおんしん事業の事業化へ向けた、様々なデータを取得するため、おためし事業を行おうと考えています。排雪を行う場所としては、高齢者の交流拠点でありますカフェクローバーと、関係人口の取り組みに関する、NPO法人エゾロックの活動拠点である浜益ベースの2か所を今シーズン2回、排雪をしようと思います。

作業内容については、午前9時ころからスタンバイし、午前中にカフェクローバー、午後から浜益ベースの排雪を行います。

車両の確保については、4tダンプのスポットリースをしまして、ダンプへの雪の積載は、ホイールローダーと運転できる方の協力が必要なため、協力いただける方を探しております。先ほど佐藤副会長に、カフェクローバーでの作業をお手伝いいただけませんかと相談させていただいたところ、快諾を頂きました。ありがとうございます。浜益ベースでの作業については、引き続き、事務局内で検討し、協力者の掘り起こしをしていきます。

作業メンバーは、ホイールローダーでダンプに積むとしても、細かい部分の雪を綺麗に集めながらの作業になりますので、地域協議会や各地区の自治会の方々、支所職員をはじめとしまして協力いただける方を掘り起こそうと考えております。

また、今後本格的な事業の具現化に必要なデータとして、作業時間や人員数の確認、重機借り上げ料、燃料費、保険料等、必要経費を確認し、事務局でデータを活用できるよう整えて参りたいと考えております。

【渡邊会長】

事務局から、アンケート調査の結果と、冬のおんしん事業おためし編の説明がありました。

質問等ありましたらお願いします。

【柿岡委員】

排雪予定場所のカフェクローバーと浜益ベースは、どれくらいの雪の量になるところですか。

【事務局】

カフェクローバーについては、国道沿いの部分に除雪によって雪がたまる場所の排雪を想定しています。岸本産業による国道の排雪が行われる前のタイミングで実施することを想定しているので相当な作業量になると考えます。

浜益ベースについては、屋根からの雪や建物の裏側にある排気口の周りなどの雪を可能な限り道路側へ出し、ホイールローダーでダンプに積んで排雪します。4tのダンプをスポットでリースして、それに雪を積み、満タンになったら、雪の堆積場の旧浜益中学校グラウンドに降ろして戻るを繰り返します。

それぞれの場所で作業時間や、運搬時間がどれくらいかかるのか等を計測し、作業時間がかかりすぎて難しいとか、特に浜益ベースは作業スペースが狭いので、作業がどのくらい難しいのか、車両の大きさも含めて検討材料とできればと思っています。

【柿岡委員】

おためし排雪と同時進行で、この2か所の設定場所の他に、各地区の方たちから、今年の積雪状況や、排雪がどれくらいの頻度が必要なのか等の情報提供を呼びかけてみたり、その地区に住んでいる機械をお持ちの方の情報や、地域の写真を撮って送っていただくなど、地域の方に協力してもらって、随時観察日記のようなものをつけてもらい、地区ごとの状況をデータ取りしておく、実際の動き出しの時に役に立つのではないかと思います。

【事務局】

そうですね。今年の状況で、雪が相当たまって大変そうな所について、情報収集して記録し、来年度以降につなげられれば良いと思います。是非取り組みたいと思います。

【徳地委員】

カフェクローバーの作業では、国道沿いの雪山をどこで積み込むようなイメージですか。国道で積み込むわけにはいかないと思います。

【事務局】

カフェクローバーと岸本産業の駐車場間のスペースでダンプに積み込むイメージです。歩道と国道の間に堆積した雪を排雪する予定です。

【徳地委員】

国道を出たり入ったりするなら、警備員の配置が必要ではないですか。

【事務局】

警備員の配置も必要ですね。岸本産業の方と必要人員を調整のうえ、パートを決めて行おうと思います。

【水崎委員】

これは、平日に行いますか、土日で行いますか。

【事務局】

今回は平日に2回予定しております。

【渡邊会長】

雪がたまってきたら、国道の部分1車線くらいつぶれていますよね。

【岡本委員】

岸本産業では2月頃に運搬排雪を予定しています。

【事務局】

積雪の様子を見て、1回目は1月の下旬くらいにおためし排雪を行ってみて、国道の排雪が入って、その後に雪がたまっている状況であれば、2月の下旬頃に再実施するイメージを持っています。

今の段階の予定で、1回目は1月の23日から27日の週と、2月が20日から24日の平日と思いますが、雪の降り方によっては前後する可能性もありますし、岸本産業さんと連絡を取り合いながらやっていきたいと思っています。

【渡邊会長】

実現すると、国道の除雪と併せてかなり綺麗に除雪されますね。排雪の関係事業について、何か確認しておきたいことはありませんか。

【柿岡委員】

この事業は、何年計画で実施する等、具体的なものはまだ考えていませんか。

【事務局】

今年はいくまでも、事業化するためのデータを取ったうえで、制度設計をしたときに持続可能な方法を模索しなければならないと考えています。それによって、まずは持続可能な事業を組み上げられるかという部分を検討していきたいと考えています。

【柿岡委員】

公共事業の一環として、長く続けられれば良いという方向性ですか。

【事務局】

これだけ高齢化が進んだ地区ですので、今、公共施設の部分でトライアルをしますが、区民向けに、どういう形ででも排雪事業を使わなければならない時期が必ず来るのではないかと考えていますので、情報収集ももちろんですが、取り組みの基本を作っておかないと、後々除雪で困る地域が増えてくると考えています。

【渡邊会長】

個別排雪を続けていくのであれば、それを業として収入が上がるような、商売としてできるような仕組みにしていかなければならないと思います。ボランティアだけでは限界があり、ある程度きちっと見極めて進めていただければと思います。今年の冬は、おためし排雪事業で色々なデータを収集しながら、次年度へ向けて、制度化できるのかできないのかというところから始めていかなければならないと思います。

委員のみなさんもお手伝い可能であれば、積極的なお手伝いをよろしく願いいたします。私も日程が合えば手伝いたいと思います。

【事務局】

資料の作業メンバーに地域協議会委員と自治会の方々と入っておりますので、よろしく願いいたします。

今年はおためしですけど、次年度以降できるか、できないかを判断するとき、協力体制やメ

ンバーが支所職員だけではないですし、地域協議会だけでなく自治会の人等の力を合わせながら、利用者からお金をいただいて、そこから事業を続けていくことができるかどうかを検討していかないと、持続可能にはできないと思っています。

【岡本委員】

これは、各消防分団との連携は取っていませんか。

【事務局】

今のところ考えておりません。

【岡本委員】

実田地区の場合ですが、実田分団でも実田会館の屋根の雪おろしをしたことがあるので、柏木の分団の人たちに声をかけてみてはどうかと思います。

【徳地委員】

そうすると、神社の雪かき等を行っている漁協青年部の力も借りるのも良いと思います。

【岡本委員】

そうですね。漁協青年部にも協力してもらおうと良いと思います。

【徳地委員】

そこまで行ったら、わかもん会にも協力を依頼してみてもどうかと思います。

【事務局】

今日、ある地区の神社へ行く機会があったのですが、初詣が近くなってきたので、参道の雪かきをしようとしていた方がいました。その方も、今は自分ができているのだけど、雪かきも大変だし、神社じまいも考えていかなきゃならないという話を聞きました。

漁協青年部で、神社の雪かきを手伝っているのは、良い取り組みだと思います。持続可能な部分で考えると、消防分団や漁協青年部等の地元の力を借りていかないと、制度設計自体難しいと思います。ここから、色々な団体に繋がっていくと思いますが、情報収集して考えていきたいと思えます。

【渡邊会長】

他にありませんか。

それでは、浜益冬のあんしん事業について、事務局の提案のとおり進めることでよろしいですか。

— 了承 —

では、事務局の方々よろしくお願いいたします。

4 その他

【渡邊会長】

次にその他です。事務局から何かありますか。

【事務局】

協議事項の補足です。冬のあんしん事業の実施日ですが、詳細が決まりましたら、協議会委員の皆さんに個別にご都合を伺う形で事務局から声をかけさせていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

【柿岡委員】

浜益観光まちづくり推進協議会からのお知らせです。先ほど地域おこし協力隊の募集要項にもありましたが、観光プロモーション企画のミッションと裏面のおためし協力隊のプログラムの中でお手伝いいただきますが、年明けの2月11日土曜日、イチイの木をめぐるスノーシューツアーが開催されます。これに関して、常々思っていたのが、そういう取り組みをやっていたんだというような声や、黄金山にイチイの木があることを知らないという、地域の方が多く感じています。浜益観光まちづくり推進協議会の取り組みや、地域のことを地域の方々にも知っていただき、このツアーの開催にご協力をいただこうと画策しています。当日の運営スタッフ、サポートスタッフの他に、イチイの木まで歩く道を作らなければいけないのでコースづくり等、事前準備のお手伝いをお願いするかもしれません。また、昼食の準備をお手伝いいただいたり、食材提供をいただく等、色々な形で、地域の方々にも関わっていただければ、自分事として観光客を受け入れることを感じていただけたらと思っています。これから、皆様の元へ営業活動に行くと思いますので、優しく受け止めてもらいたいと思います。

【事務局】

是非、けんちん汁を出していただきたいと思います。

【柿岡委員】

残念ながら、けんちん汁は今回のメニューにはありません。

今まで、岸本さん宅の倉庫で休憩をして、温泉でお弁当と入浴という流れだったのですが、秋に味覚ツアーを行った時に、簡単なビュッフェスタイルで食事の提供を行ったところ、それが好評だったことと、一方的なサービスではなく、お客さんと地域の方の交流の機会も増えるので、今回のイチイのツアーもビュッフェスタイルでやってみようと思っています。

ただ、品数を増やしても手間が増えるので、見映え良く、無駄なく、手間をかけず、何品かに絞って、目も、おなかも喜んでいただけるようなメニューを検討しています。

【高橋支所長】

温泉でのイベントはありますか。

【柿岡委員】

岸本さんの倉庫で昼食提供と交流の時間を設けます。温泉に入りたい方は、そこからバスをシャトル運航させて温泉入浴希望者の要望に応えたいと思います。温泉に入らなくても、地域の人たちとの交流を希望される方は、そのまま滞在していただきます。入浴時間も個人差がありますので、このような対応を考えています。

他に何か、いいアイデアや、こんなことやってみてはどうかというのがありましたら、教えてもらえると嬉しいです。

【事務局】

けんちん汁イチオシをお願いします。

【柿岡委員】

今回のメイン料理をカレーライスにしようと考えています。ただのカレーではないのでご期待ください。

でも、けんちん汁も良いかなと思い始めています。

【事務局】

給食の食缶に入れて保温すると、結構冷めずに提供できると思います。

【柿岡委員】

それに関わる什器の用意もありますので悩んでいるところです。

【久慈委員】

けんちん汁は提供してみたいですね。

【渡邊会長】

今まで、豚汁などの提供をしたことはありますか。

【柿岡委員】

今までは甘酒を提供していました。甘酒を振る舞って、温泉でのお弁当の時に味噌汁を提供していたくらいです。

期日が近づいてきていますが、貴重な情報提供ありがとうございます。もっと、情報を頂ければありがたいです。

【水崎委員】

参加費はどれくらいですか。

【柿岡委員】

前回まではモニターツアー価格ということで、6,980円でしたが、正規のツアーとして販売していくということで、今回は10,000円です。

【事務局】

札幌駅発着のバスツアーですよね。

【柿岡委員】

札幌駅発着、途中石狩で乗降車があって、浜益に到着してからイチイの木までスノーシューで歩きます。その時には、イチイの木の主治医であるエゾロックのイケメン樹木医、崎川哲一さんがご案内をします。プラス、浜益の食材を使ったお料理を振る舞います。温泉も入れます。以上のようなコースで10,000円です。お値段以上のものを提供できると良いと思っています。

【事務局】

このツアーは募集開始していますか。

【柿岡委員】

先日、アミーケ・インターナショナルさんが支所においでになった時に、もう既に4名の応募があったと話していました。

【事務局】

正式なチラシを早々に入手してプレスリリースをします。

【柿岡委員】

催行人数最大21名です。そんなに、多くはない人数ですけど、昨今、燃料代や人件費が上がっているの、10,000円払っていただいたものを、ツアーのアトラクションに全てつぎ込めるわけではないので、コストは下げて、それ以上の物を演出できるよう企画を練っています。よろしくお願いいたします。

5 次回の開催日程について

【事務局】

次回の地域協議会は、1月下旬を目途に日程調整させていただきたいと思います。決まりましたら改めてご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

次回、第8回の地域協議会は、1月の下旬を目途に事務局から案内をしていただければと思います。

6 閉 会

【渡邊会長】

それでは、以上を持ちまして、第7回地域協議会を閉会といたします。長時間お疲れさまでした。

令和5年1月30日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡 邊 隆 之